

年頭に当たりまして慎んでご挨拶を申し上げます。昨年、二つの慶幸がありました。少年野球の平岡カーボイズが晴れの日本一になりました。札幌、北海道代表として真夏の超暑い淡路島で戦つての快挙でした。子供達の挨拶が素晴らしい、全力疾走、真剣にプレイする等そこには指導者の熱い思い、情熱を感じました。監督は町連体育部長・古谷俊晃さんです。

次に平岡地区民生委員児童委員会が12月厚生大臣表彰を受けました。永年にわたり地域社会の福祉活動向上に携つて来られました。最近は、高齢者見守り活動

寒断層があり、年2回、秋冬、中学校2校と防災訓練を実施しています。今年は2月21日から一泊二日で第5回宿泊防災訓練をまちづくりセンターで行いました。いざというとき、普段やっている事しか出来ないと防災の言葉がありますが、減災への努力は大変重要な事でありますのでこれからも

の中心的な役割を果たされています。両者とも勇気、明るさ、思いやり、一体感醸成に多大な貢献をして頂きました。

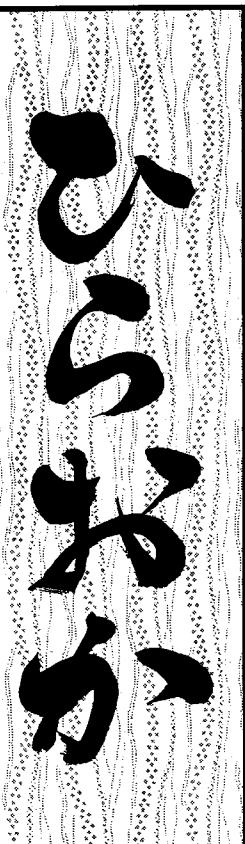
防災防犯について申し上げます。平岡地区は自然災害には強い地域であります。9月11日夜半、雷を伴つた大雨に見舞われましたが、テレビや情報家電等の避難情報を受けて南小学校に11名避難されました。幸いに三里川の氾濫はギリギリで免れましたが、早めの避難指示に従つてくださいました。

地震は全国的に大小毎日のように発生していますが、平岡地区にもほど真下に月



平岡地区連合町内会
会長 中 川 昇

安全安心・楽しい街づくりを



平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 中川 昇
編集責任者 妹尾 裕司 渡辺綱太郎

最小限に食い止めるには近隣の人々が知り合う顔が見える普段のコミュニティ活動が必要です。今後も平岡地区のより安心安全な街、楽しい街づくり活動が必要です。

りに励んで参りますので町内会、町連の事業へのご参加をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げましてご挨拶と致します。



委員長 大宮 幸夫

福祉のまち推進センターと地域とのつながり

変質者は年間10件以下に大幅に減少しています。登下校時18人のスクールガードの見守り活動、夏休みでの230名の参加でのパトロール、5台の青色車パトロール等従事しています。振り込め詐欺に付き、子息のなりすまし、区役所職員を名乗り、還付金返済をしたい、会社のお金使い込み、株で儲かる、等言葉巧みにお金の要求をしてきました。冷静になつて(家族)子息に確認をする事で免れます。地震は全国的に大小毎日

住みなれたこの平岡地区で安心して暮らしていくける街づくりを町内会・自治会の協力と支援をいただき福まち事業を推進しているところです。この平岡地区も30年から40年前は札幌市の中でも若い街であったと思います。昨今では急激に高齢化が進んでまいりました。

福まち事業の基本でもある子供から高齢者、身体障害者の皆様まで安心して共働して生活のできる街づくりを平成23年より研修会等を何度もかさねて地域住民の皆様の福祉活動に勤めてまいりました。平成24年度よ



梅の実交流茶房の異世代交流



咲かせよう “わ” 事業の体力測定

係の役員の皆様と見守りと
町内会活動についての意見、
情報交換を23町内会と毎週
一単位町内会と23週をかけ
まして活発な討議をさせて
いただき、福まちの今後の
事業の基調な意見をいただ
きました。福まち役員一同
にして活動をするべきこと
が見えてまいりました。

平成25年札幌市より3区
3地区福祉のまち推進セン
ターのモデル地区に平岡地
区も指定を受けました。25
年より3年間市民が地域で
安心して暮らし続けること
ができるよう地域の支え合
い活動の強化と保健師によ
る地域保健活動の充実を図
り、福祉と保健の連携を推
進する。また地域医療機関
との連携のあり方を福まち

従来より継続をしている
事業の梅の実交流茶房の見
守り活動と高齢者の事業は、
(一) 友愛訪問 (二) 茶話会
(三) 日帰りバス旅行 (四) 子
育サロン事業で、こうめちゃん
ンサロン、プラムちゃんる

「む」の事業は、平岡地区会
館と平岡中学校多目的教室
の毎月二会場で年間を通し
て月一回を実施しております。
高齢者、子育サロンの
父母の皆様には楽しく喜ん
で多数の方々に参加をして
いただいております。

平成26年度よりモデル地
区に指定を受けてから新し
い事業として地域の皆様が
健康で楽しく生活が続けて



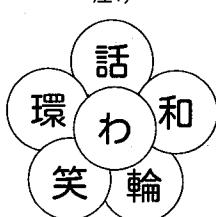
友愛事業…弁当づくり

が中心となつて、地域の皆
様と活動を進めている現在
です。

いる様に『咲かせよう、
わ』(注)、事業として日常生活
相談と体力測定を当初7
回実施いたしました。

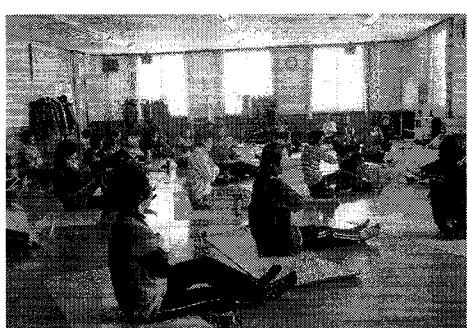
研修会では遺言と相続、
高齢者施設について知つて
おこうの講話、中学生と高
齢者との異世代交流会は昼
食にはおしゃることを食べて、
楽しい時間として大変に喜
こんでいただきました。こ
の事業も今後も続けてい
ます様に現在、役員会で進
めているところです。

福まち事業、全行事につ
きましては町内会、自治会
よりの推進委員、民生委員
の協力と地域の皆様の協力
がなくしては行なえません。
福まちにご理解をいただき、
多くの皆様の参加をお願い
するだいです。今後もご
協力とご支援をお願い申し
上ます。



(注1)

従来より継続をしている
事業の梅の実交流茶房の見
守り活動と高齢者の事業は、
(一) 友愛訪問 (二) 茶話会
(三) 日帰りバス旅行 (四) 子
育サロン事業で、こうめちゃん
ンサロン、プラムちゃんる



足の甲の筋力アップ…。

家庭生活の主たる内容であ
る「食の安心安全」をテー
マに昨年度までの3年間を
すすめ、意識を高めてきま
す。

視察研修や教養講座では、
地域環境に対応した生活の
向上をめざし活動を進めて
います。

する26町内会女性部の主な
活動は、地域住民の安心安
全な生活を守ることを目的
とし、子どもたちや高齢者
と共に健康に生きるために
活動と研修を深め、地域の
生活者や公的施設、教育現
場のみなさんと協力し合い、
地域環境に対応した生活の
向上をめざし活動を進めて
います。

平岡町内会連合会に所属
する26町内会女性部の主な
活動は、地域住民の安心安
全な生活を守ることを目的

健康な**体**づ**く**り**じ**め**し**ょ**う**
～あなたとあなたの家族が健康に暮らすために～

平岡町内会連合会 女性部長 山田睦子

2014年度は、テーマ
「健康な体づくり」のもと、
医療費や健康保険料の値上
がりの中、自分と家族の健
康と生活を守る取り組みを
進めています。



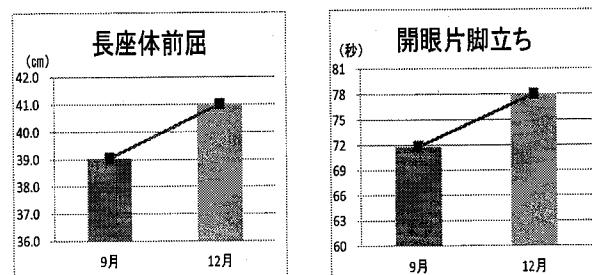
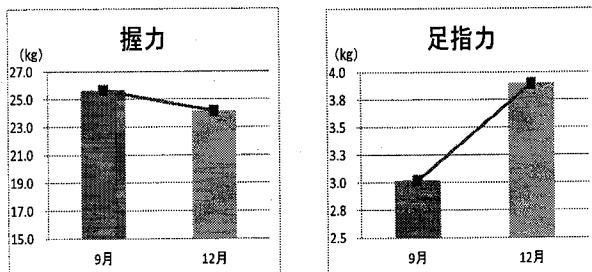
YUNA講師の熱心な指導

9月に始めた「健康な体
づくり」の取り組みは「平
岡まちづくりセンター」
の助力 平岡町内会連合会
の支援と体育部の協力で進
めてきました。

開会式には、まちづくり
センター長をはじめ「札幌
大学NPO法人めえす」
のご挨拶を戴き、区役所健
康課の体力測定を受け開始

平成26年度平岡町内会連合会女性部 体力測定結果

*9月及び12月の2回とも体力測定を実施した20名の平均値を比較



9月と12月の体力測定結果をみると、足指力・長座体前屈・閉眼片足立ちの結果が向上きです。

足指力は膝から下の筋力を、**長座体前屈**は腰から太ももの裏側の柔軟性を、**開脚片足立ち**では体重を支える足の筋力やバランス機能を見る項目です。

今回の教室に参加されたことにより、下肢の柔軟性や筋力の高まりを実感された方も多いのではないでしょうか。

これからもご自身に合った健康づくり活動を継続し、いつまでも、若々しくいたいのですね。

～アコ健康づくりフローガン～

平岡健康アドバイスセンター

清田区保健福祉部
H27.1

団地の皆さんのが少しても快適に、安心して生活できるようにはじめに取り組んだことは防犯防災活動です。これは防犯防災部を中心としたAED講習会への参加や非常時の為の緊急連絡網の導入などを行いました。緊急連絡網に関しては、各世帯にアンケートを取り、「車いす利用の有無」「日中 在宅の有無」また、「かかりつけ病院は何処か」など個人のプライバシーにも配慮しながらできるだけ多くの情報を把握できるよう努めました。

そして、現在行つている活動が「エコ活動」です。団地内で集める共益費の支出の割合を出した結果、一番多く占めているのが電気料金である事を皆さんに報告し、電気料金の値上げに伴い節電の協力を求めました。過去3年の電気料金の推移を出し年々上がつている事を理解して頂いた上で、今年の一月から三月までの防ぐ為に赤水被害のある世界を中心に配管の修繕工事を昨年9月に実施いたしました。

しました。運動内容は、基礎的な体力向上を呼吸法や筋力バランスを整えることを目指に「転ばない歩き方」や冬場対応の筋力を増強する運動をすすめ、「足の甲の筋力」を高めるものです。参加希望者48名は、YUN A講師の協力のもと10回の楽しい、納得の熱心な指導を受けました。

足指力は膝から下の筋力を、長座体前屈は腰から太ももの裏側の柔軟性を、眼片足立ちは体重を支える足の筋力やバランス機能の向上が見られるとの報告でした。

導する「健康づくり」の時間を作り、2月～3月に運動によって健康を守り、病院に行かなくて良いとくみを進めています。

平岡町内会連合会と各町内会・自治会は、福祉・環境・防犯・防災・交通安全などに取り組んでいますが、平岡地区の高齢化も他の地域同様に徐々にすすみ、課題が見えてきています。共に暮らす地域の仲間と協力し合い、自分と家族が健康に暮らすために自ら進んで「健康な体づくり」にとりくみましょう。

平岡南団地自治会は、発足15年目全世帯数108戸一棟建ての市営住宅です。入居当時は、元気な子供達の声が沢山聞こえて賑やかな団地でした。現在の世帯数はほぼ同じですが、やはり少子高齢化は進んでいます。今年度の会長として何が出来るのか?という事より、この現状を腑まえて何をしなければならないのかを考

心安全を守るアンケート活動です。南団地は、築15年という事もあり、漏水事故や赤水被害が出ておりこれについても全世帯にアンケート調査を実施しました。それにより平成22年あたりから急激に漏水事故が発生している事がわかり25年度は一年で12件の漏水事故や被害があつた事が判明しました。



平岡南団地自治会

「おとぎ屋根の下」

3ヶ月間、廊下の照明の間引きを実施しています。皆さんのがとても協力的なので4月に出る結果に期待しているところです。



節電のための蛍光灯の間引き

平岡町連で企画して頂いた事業や講習会等にも、出来るだけ参加させて頂き、当自治会活動の参考にと勉強しているところです。夢は沢山あります。一つには、屋上に「ソーラーパネルの設置」もう一つは、ゴミステーションを金網のワゴンにする事や緊急時一人でも多くの人が心臓マッサージが出来る様にしていただきたい、集会室が多くの方の憩いの場になる事、という様に、掲げだしたらきりがないのですが、焦せらずに少しずつ夢を現実にしていけたらと思つています。

「一つ屋根の下で、「おはようございます」「いらっしゃい」と優しい言葉や気持ちのキヤツチボールが出来る団地でありたいと 思います。」

平岡南団地には働き者が沢山います。そのお陰で、皆が心地よく暮らす事が出来ています。



町内会の活動状況

平岡第一町内会

会長
三浦宣昭

平岡第二町内会は昭和55年4月に96戸で設立し、³⁵年経過した平成27年一月一日現在、²⁶⁷戸が居住し町内会加入世帯数²³³戸で運営しています。

● 女性部の活動状況

女性部の活動は、町内会生しました。災害に備え、町内での安全安心を心掛け近所同士が支え合う『向三軒両隣』の気持ちが大切で、近所同士の『見守り、助け合い』を深める一端を兼ねた女性部の活動と、隣三町内会の融和と親睦を計る合同夏祭りを紹介させさせていただきます。



集合室での“憩い”

近隣に對しては友愛と親睦を深め、女性の地位向上と明るい町内を築くこととなります。又、経費には町内会からの助成金その他の収入（集団資源回収奨励金等）が主な収入となつていて女性部の独立会計として運営しています。

会則の女性部内規に基づき
実施されています。内規の
目的には、趣味、教養、体
育を通じ、老人から青少年、
幼児に至るまでの愛情で接し

町内会の春・秋の清掃、街路樹植花作業、町内夏祭り（三町内合同）、子供の見守り、子供新年会等の応援、平岡町連関連事業の参加など多くの事業に参加し活動しています。

行い、会場設営などは三町内会役員の協力で行われます。8月7日には、平岡北公園で『七夕まつり』と『子供花火大会』が行われ（参加児童約300名）、涼しげな浴衣すがたの子供も多く夢や希望を美しい短冊に願いながら夜空に輝く綺麗な打ち上げ花火で楽しい時間を過ごしました。



三町内合同盆踊り



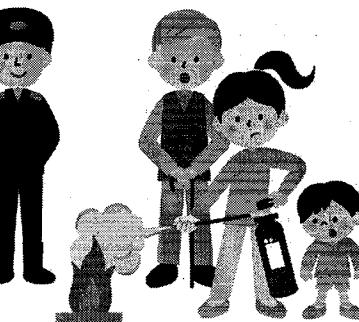
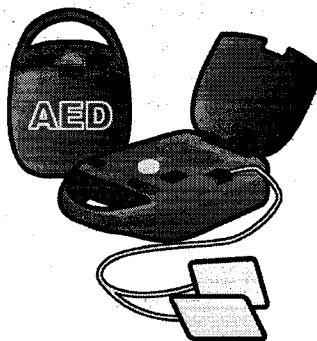
子供花火大会

8月9日は、平岡わかば公園で精霊を迎えて『盆踊り大会』を開催し（参加者子供300数名、大人200数十名）子供と大人時間を分け、て踊り多くの人が楽しいひとときをすごして盛会のうちに終了しました。

も参加し、自分達の住んで
いる環境美化の意識が高まつ
て来ています。

十月には管理組合と合同
で清田消防署の協力をいた
だき消火器の使用説明と実
体験・応急担架の作製と搬
送訓練・AEDの使用説明
等で住民の防災活動の意識
を高めています。

主な活動を紹介致しまし
たが、これ以外にも婦人達
の小物作りサークル等があ
り、子供も高齢者も楽しい
時間を過ごしております。
私たちの町内会は加入率100%
ですが、これからも住民の
皆様が安心安全で、笑声の
絶えない町内会を目指して
まいります。



雀大会

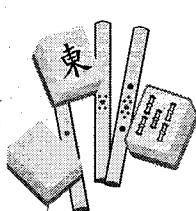
平岡シユヴァービング町内会「麻雀同好会」は、毎週火曜日午後12時から17時まで11番館から14番館集会室で行われています。現在は、男性10名、女性3名の麻雀仲間で、茶菓子を食べ、談話して午後のひと時を楽しく過ごしています。月500円会費で、3カ月に一回は大会を行い、満貫賞、ラッキー賞、ブービー賞、ドン兵など、全員に景品が当たるようになっています。趣味と健康維持と会員の

みんなの広場コーナー

平岡シユヴァービング『麻雀同好会』

代表 村守恒男

皆さんのお隣交流を兼ねた活動としてこれからも続けていなければと思います。



よ
と
が
き

この寒さの入口の12月に高倉健、菅原文太という名人の命と闘わるもつている。最近は、インフルエンザなどの付録も付くからやこしくなる。北海道に住む人は、寒さと雪にジッと耐えながら「立春」を待っている。ヒイラギのとげにイワシの頭を刺して雪解けを待つている人もいる。狂言の世界にも「立春」があります。ある「立春」ながら言い寄りますが、「私は近々嫁きます」と偽わらばれたりして、ついに「鬼はかどわかそうと小唄など歌いながら言ひ寄りますが、私の夜に粗忽者の鬼が女をかほうほうの体で逃げてくれる」という話です。今回43号もよなよな夜にまちせんで事前会議をしました。その「苦勞のメンバー」です。南から順をおこうと◆平岡南団地町内会総務部長兼広報部委員◆シユヴァービング町内会副会長兼広報部委員◆平岡第一町内会会計監査兼広報部委員また、梅公園に人が集まり、サクラが咲けばパークゴルフ場もにぎわいます。(編集委員会) 村守恒男 遠藤敏彦 越後祐子